



「歯と口の健康を守る郡市民大会」では子どもだけでなく、成人を対象に歯科検診や口腔がん検診なども実施しています

ナー、フッ素塗布、ブラッシング指導、口腔内細菌数測定など、盛りだくさんの内容です。

また、小中学生を対象に、歯と口の健康への意識を高めてもらおうと、「歯と口の健康づくりポスター・標語コンクール」を主催しています。入賞作品は飯田信用金庫などに展示されるほか、「歯と口の健康を守る郡市民大会」では表彰式が行われます。

高齢化社会を見据え 訪問歯科診療の普及を

近年とくに力を注いでいるのが、地域医療の一環としての訪問歯科診療です。飯田下伊那地域は長野県内でも高齢化率が高く、今後、歯科医院に通院できない人の増加が予想されます。飯田下伊那歯科医師会では、福祉医療部という専門部会を立ち上げ、訪問診療に対応する会員の拡大や、地域への普及を図ってきました。



「歯と口の健康づくりポスター・標語コンクール」の表彰式の様子。以前は虫歯を題材にした作品が多かったそうですが、最近では歯周病予防を訴えるものが増えました



ブラッシング指導をするための模型。フリモARの動画で、水野先生が磨き残しが多い箇所や磨き方の注意点など、わかりやすく教えてくれます

しかしながら、訪問歯科診療に関する認知度の低さが課題となっています。各自治体の広報でPRするなど、いろいろな機会を利用して周知に努めています。未だ知らない人が多数を占めているといいます。

歯を削ったり、入れ歯を作ったりという治療だけでなく、口腔ケアや入れ歯の調整、歯科相談にも応じています。在宅で寝たきりの人、移動手段がない人、施設入居者など、気軽に利用してもらいたいと水野先生は呼びかけます。

通院できない方のために、訪問歯科診療を積極的に実施しています



飯田下伊那歯科医師会 医療広報部長 水野邦彦先生

健康で快適な暮らしは 歯と口の健康が重要

現在では、歯周病が全身疾患に影響を及ぼすことが明らかになっています。歯周病菌は糖尿病、脳血管疾患、心臓疾患、誤嚥性肺炎などの発症や進行のリスク因子です。全身の健康を守るためにも、歯や口の健康が重要なのです。

膝の手術をするために検査をしたところ、患部から歯周病菌が大量に見つかったため、まず口腔ケアをしてほしいという整形外科からの依頼。骨粗しょう症の薬を処方したいのが、歯周病による副作用などが心配されるため、先に歯科治療をしてほ



往診用セット。歯科医院と同様に、歯を削ったり、詰めたり、入れ歯を調整したりと、さまざまな歯科診療が可能です



飯田下伊那歯科医師会の 休日歯科緊急診療
 歯科医師会会館併設の口腔衛生センターで、休日診療を行っています。

- 診療時間 / 9時～15時
- 診療日 / 日曜、祝日、年末年始
- 連絡先 / 0265-24-5791
- 診療場所 / 飯田市東新町2-23

しいという要請。

水野先生によれば、こうした症例が増えているようで、改めて歯と口の健康管理に気を配る大切さに思い至ります。

「そのためには、かかりつけの先生を持つことと、定期的に検診を受けること、そして日頃のメンテナンスです。歯や口が何か変だなと感じたら、とりあえず電話で相談してみるのも良いと思います。かかりつけ医であれば、これまでの経過もわかっていますし、生活環境などもある程度把握していますので、適切なアドバイスができます」

ひと昔前に比べて、歯や口の健康に関心を持つ人たちが増え、子どもの虫歯も減った一方で、いわゆる働き盛りの30代、40代で歯科検診を受ける人が少ない傾向にあります。異変を感じたときには、病気がかなり進行しているかもしれません。ぜひ「歯と口の健康週間」を機会に一度、歯科医院を訪ねてみてはいかがでしょうか。

【巻頭特集】飯田下伊那歯科医師会 地域住民の歯と口の健康づくりを

6月4日から10日は「歯と口の健康週間」です。この機会に、ご自身の歯の健康や口腔内の衛生について見直してみませんか。そんなとき頼りになるのが、地域の歯医者さん。飯田下伊那歯科医師会では、歯と口の健康を守るためにさまざまな活動を行っています。

フリモAR アプリをダウンロード

App Store からダウンロード

Google Play でインストール

で「フリモAR」を検索

※AppleおよびAppleロゴは米国その他で登録されたApple Inc. の商標です。App StoreはApple Inc. のサービスマークです。Google Play および Google Play ロゴは Google Inc. の商標です。

健康な歯を保つための 歯科検診と啓蒙活動

昭和22年11月、飯田市と下伊那郡の3町10村の歯科医師によって、飯田下伊那歯科医師会が結成されました。現在は大鹿和完会長を筆頭に、98人（内女性11人）の会員が所属しています。

飯田下伊那地域では毎年春と秋の2回、保育園・幼稚園・小学校・中学校の児童生徒の歯科検診を実施しており、歯科医師会の会員が学校歯科医師として当たっています。検診では虫歯や歯並び、歯垢、歯みがきの状態などを一人ひとり診ていきます。小学校新入学予定者には、前年の秋に就学児検診も行っています。

「検診だけでなく、予防や指導にも取り組んでいます。歯科医師会会館併設の口腔衛生センターに所属する歯科衛生士の方が学校にうかがって、フッ素塗布や歯みがき指導、口腔衛生の講習などを行っています」と歯科医師会医療広報部長の水野邦彦先生。

新たな検診活動として、障がい者に対する口腔ケア事業があります。障がい者施設などを訪問して、無料で歯科検診を今年から始めました。地域の人々に向けた啓蒙活動も長年続けてきました。各地区の公民館などで開く出前講座のほか、毎年10月には「歯と口の健康を守る郡市民大会」を開催。今年で44回を数えるイベントで、パネル展示や体験コー